

Rotary opens opportunities



ロータリーは  
機会の扉を開く

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ロータリー財団月間



国際ロータリー第 2770 地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116 エイペックスタワー東館 1 階

TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011 E-mail : ri2770@ri2770.com URL : http://www.ri2770.com

## 11月はロータリー財団月間です

2020-21年度 第2770地区

ガバナー 中里 公造

世界200以上の国と地域にある35,000ほどのロータリークラブが集まって、国際ロータリーを形成しています。しかし、2019年の規定審議会の決定により現在では、ロータリークラブとローターアクトクラブの連合体が、国際ロータリーを形成しています。そして、国際ロータリーに加盟しているのはクラブであり、ロータリアンはそれぞれのクラブの会員、ということはいうまでもございません。



会員はクラブを通じて、国際ロータリーの会費として人頭分担金を収めています。ところで皆さん、今年度国際ロータリーに収める会費はいくらだと思いますか？ 皆さんが直接支払っているわけではないので、多くの方はご存知ないかも知れませんが、RIへ納める会費は一人当たり年間69ドルです。世界のロータリアンは約120万人いますので相当な金額が国際ロータリーに入ります。

そしてその会費は、主に国際ロータリーの運営費や人件費に充てられています。それに対しロータリー財団の財源は、世界中のロータリアンの皆さんからの、任意の寄付で支えられています。

ロータリー財団は、1917年、アーチ C. クランフ RI会長が「世界でよいことをするために」という発想のもと基金の設置を提案。この基金が1928年に「ロータリー財団」と名づけられて国際ロータリー内の新しい組織となり、現在のロータリー財団に至っています。

100年以上も前に創立されて以来、現在までに教育の支援や、持続可能な成果を生み出すプロジェクトに、総額40億ドル以上の資金を提供してきました。

また、クラブや地区に補助金を提供しているほか、ポリオ根絶活動や平和の推進といったグローバルな活動を展開しています。こうした活動や補助金を実現させているのが、世界中のロータリアンから寄せられたロータリー財団への寄付、ということでございます。

ロータリー財団への寄付は、3年後に一定の比率で地区へ戻されます。その資金をそれぞれのクラブで活用して、地元地域社会や海外での奉仕活動に使用されています。

言い方を変えますと、私たちが寄付したお金を、私たちが補助金として使う。ということでございます。一人一人の善意の寄付が、世界中の地域社会の環境や、人々の生活環境の改善等を含めた、6つの重点分野(2021年7月より「環境の保全」が追加され7つになります)に特化した、支援プロジェクトのための、貴重な資金となっているということでございます。

11月15日(日)の地区大会は、「川口リリア」で開催されます。メインホール(2,000名収容)の他、音楽ホールにも大型ビジョンを配置する他、オンラインでも参加いただけます。

検温、消毒、換気等々出来うる限りのコロナ対策は当然のこととして、皆様をお迎えいたします。

# 部門セミナー報告書

米山記念奨学部門

## 米山記念奨学部門委員長 工藤篤志

2020年9月26日、オンライン形式にて、米山記念奨学部門セミナーが行われた。当日は、第1部はクラブ会長・米山委員長・米山カウンセラーを中心に大学関係者の皆様を合わせて160人以上、第2部は新会員を中心に米山学友・奨学生など合わせて90名以上のご参加をいただき、心から感謝申し上げます。

第1部は、米山事業の説明(事業の説明、世話クラブ選考など)に続き、第2590地区(横浜・川崎地区)米山委員会委員長の齊藤正彦氏(川崎西RC)をお招きしてディスカッションが行われた。ディスカッションテーマは、「主な米山事業について」「寄付について」「選考について」「学友について」と多岐に渡って行われた。他の地区的活動を知る機会は少なく、また個人平均寄付額でも毎年不動の1位を維持している2590地区の取り組み・文化を知る機会は今までになく、大変刺激的であり示唆に富るものであった。今後も、情報交換を含めた他地区との交流は有意義であると思われる。



第2部は、第2回米山学友世界大会用にモンゴル学友会が作成した「米山学友」の説明DVDに続き、モンゴル学友会・マレーシア学友会・当地区学友会・さいたま大空RCの4者によるディスカッションが行われた。母国に帰った奨学期間終了後の「学友」の消息は不明であることが多い。特に、人数が多い中国・韓国・台湾以外の国での活動はあまり知られていない。しかし、それぞれの国に帰った後でも、米山奨学制度およびロータリーに対する恩を忘れずに、地道に奉仕活動を実践している姿が紹介された。運営上の苦労など課題も披露されたが、ロータリークラブとの共同事業など今後の可能性を大いに感じる内容であった(モンゴル学友会とさいたま大空クラブの共同奉仕事業は今後のモデルケースとなると思われる)。

最後になりましたが、運営上の不手際が目立ち、参加者の皆様にはご不便をおかけしてしまったことをお詫び申し上げます。



# 部門セミナー報告書

奉仕プロジェクト3部門(職業・社会・国際)

## 職業奉仕部門委員長 菊池 和彦

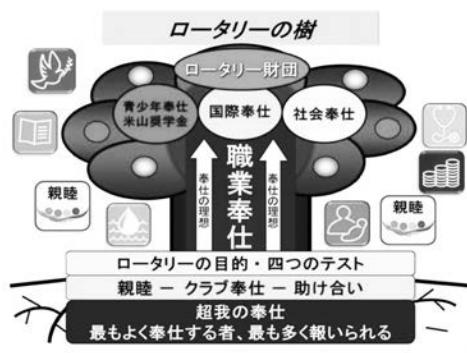


奉仕プロジェクト3部門セミナーは、9月12日(土)にZOOMでのWEB形式で開催を致しました。第1部と第2部の2部制で、第1部は入会5年未満の新会員を対象とし、第2部は会長及び担当委員長を対象と致しました。登録者数は第1部が122名、第2部が213名でした。例年は、奉仕プロジェクトの3部門がそれぞれの分科会において委員全員でセミナーを運営してきましたが、今年度はコロナ禍の状況においてオンライン開催が適正な選択だと思っています。

6月より、紅谷弘二社会奉仕部門委員長、長谷川光司国際奉仕部門委員長の3人でセミナーの打合せを重ね、ミーティングよりも飲酒の時間が長く英知の結集とは行きませんでしたが、3部門同日の開催や分かり易く興味深い内容のセミナーを目指しました。中里ガバナーのアドバイスによ

り、3部門合わせても、他のセミナーと同時間内で終了出来るよう調整しました。第1部のセミナーは私が担当し、職業奉仕はロータリーの歴史と共に歩んできましたので、ポール・ハリス、第1・第2標語、ロータリーの目的、四つのテスト、ロータリアンの行動規範、職業奉仕の実践例等、出来るだけ分かり易い肯定的な内容にしました。第2部のセミナーは都築大介委員長が担当し、職業奉仕がロータリーの根幹と言われる理由に基づき丁寧に説明しました。今後の課題である自分の職業スキルを生かした支援プロジェクトの実践について提唱しました。井原實地区研修リーダーより講評をいただき、パワーポイントの中で写真やイラストを使用し、具体的に説明した事は分かり易かったと評価されました。一方「サービス」＝「奉仕」について、全て無償では無く有償で行われる奉仕についても理解する様にと課題をいただきました。引き続き奉仕の理念」を学び、職業奉仕について深く研鑽したいと思います。

最後に、テクニカルコーディネーターを引き受けていただいた公共イメージ向上委員会委員の内藤考三様に感謝を申し上げ、職業奉仕部門セミナーのご報告と致します。



## 社会奉仕部門委員長 紅谷 弘二

社会奉仕部門セミナーは、新会員が自らの存在意義を見いだせないまま退会してしまうであろうことに着目し、自由に自分の意見を言い合える風通しの良い組織の実現を再現し実践してみました。多くのロータリアンがその醍醐味を知り、自らの存在意義を見出してロータリーライフを楽しんでいるにもかかわらず、それを知るきっかけを得られなかつた方が退会しており、しがらみにどらわれない新しく自由な発想を求めているにも関わらず、それをなかなか得難いジレンマがあります。そこで本セミナーは、他の部門とは一線を画し、一部と二部の差を内容の難易に求めるのではなく、第一部で新会員向け

セミナーを実施し、従来の座学方式を排し、積極的な主体的参加を促すワークショップ形式で新しい新し、積極的な主体的参加を促すワークショップ形式で新しい新鮮な意見を吸い上げ、それをすぐさま第二部で、会長幹事と吸い上げられた新鮮なご意見を共有したのでした。この臨場感あふれる連動を通じてダイナミックな風通しの良さを感じて頂き、自分の自由な意見がダイレクトに会長幹事に伝わる醍醐味を味わってもらうには、第一部と第二部をひっくり返す必要があったのです。本セミナー



では、部門の各委員会説明の仕方にも工夫を凝らし、マスコットキャラクターの「べにまる君」と一緒に散歩感覚でリレーしてもらい、私が、「ロータリーは人生道場だ！」と叫びつつ、まさかの空手着姿にコスプレ変身しての登場もあり、賛否両論でありましょうが、いいんです！社会奉仕部門が楽しく盛り上がって、その楽しさが参加された皆さんに少しでも伝わって、新しい時代の変化に斬新に対応していく姿勢を感じ取っていただけたなら幸いです。

こうした新しい取り組みを認め、大いに推奨して応援下さる中里ガバナーの広い器と慈悲深い御心に支えられ、今年の社会奉仕部門は一丸となり一致団結、斬新な発想を創造的に展開し大いに盛り上がっております。是非、今後の活動にご期待ください！



## 国際奉仕部門委員長 長谷川 光司

現在のコロナ禍の下、全てのセミナーはリモートで行う事と成りました。元々の通常セミナーの予定も三奉仕部門同日開催で、6大奉仕のうちの半分である職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕のセミナーを同日に行う事はどうかと云う意見も有りましたが、いろいろと聞き込みを行い部門委員長同士で話し合った結果、三日間もセミナーに費やすのは会長、委員長、そして5年未満の新会員にとって時間的な負担が大きくなるので、それぞれの部門が工夫して同日に立て割れでセミナーを行う運びと成りました。但し各部門の受け持ち時間が短くなるので、皆様に充分思いが伝わるかどうかが大変不安で有りました。部門委員長同士の度重なる話し合い、委員会でも綿密なる打ち合わせを行い、パワーポイントの内容の吟味し、セミナーの3日前におおよその流れを確認するために、地区事務所にてリハーサルを行いました。今回の最も重要なポイントはセミナーのホストがネットに長けている事、ホストを一人ではなく、メインホストの他に2名サブホスト立て、入場者のコントロール画像の切り替え、音声のコントロール等を分担して行う事といたしました。メインホストに公共イメージ向上委員会委員の内藤孝三様に依頼し、サブ

ロータリーは  
機会の  
クト3部間同日開催  
国際奉仕部門



ホストに職業奉仕委員会委員長の都築大介様、国際奉仕委員会副委員長の木林佑亮様に担当して頂き、運営に関しては、画像や音声の乱れは無く、入室の管理も中にはクラブ名や名前を変えない方や、ご自分の映像を出していない方もおりましたが、縦割れの部門毎の入れ替えもスムースに行われ時間配分も予定通りに進められました。パワーポイントの内容も名古谷誠国際奉仕委員長、浅島史郎国際交流委員長と良く検討致しましたが、本年度はフィリピンの事前検証ツアーも行えず、ベトナムダナンの国際奉仕事業も延期と成り楽しみとしていたハワイでの国際大会も中止と成り韓国3750地区の地区大会もリモートと成ったために避けずに過去の事例紹介と今後の方針が主体と成りました。

今後もコロナ禍が何時終息するか先が見えない状態では有りますが、国際奉仕部門としては諦めずに、リモート国際奉仕を含めてすべての可能性にチャレンジいたし皆様のクラブに紹介できるようスタッフ一同新たな覚悟で立ち向かいます。



## 川口東RC

会長：本多 賢太郎 幹事：細谷 定之

令和2年9月15日

9月15日(火)、中里公造ガバナー公式訪問にて卓話をいただきました。まず、ガバナー懇談会では定款、細則の重要性の確認や、それに基づく例会運営を行うことへのアドバイスを頂きました。例会卓話ではR I会長のテーマの意味の伝達・ハイブリッド例会の推奨・コロナ19への対応、クラブ協議会では、当クラブへの奉仕事業へのアドバイスや励ましなどを頂きました。残念ながら懇親会は中止となりましたが、中里ガバナーの明るく力強い人柄にクラブ会員が勇気づけられる楽しい一日となりました。



## 川口北RC

会長：増田 徹 幹事：槙 孝夫

令和2年9月16日

今年度はコロナ禍の中、当クラブではいろいろな事が初めての経験であり、手探り状態となっております。前年度3月より例会場が使用停止となっておりますので、公式訪問の会場探しから始まりました。そして、3密を回避できる川口市民ホール3階にある大ホールにて、中里公造ガバナー、小山重治第12グループガバナー補佐、西山育昌地区副幹事をお迎えして公式訪問を無事開催することができました。ガバナーより、コロナ禍の中での例会形態には「オンラインの例会・顔を合わせる例会・それらをかけ合わせたハイブリッド例会」、そのいずれもが今後のロータリーでは必然となるでしょうとのお話がございました。そして、コロナ終息後も通常の顔を合わせる例会、そしてオンラインでの例会、そのどちらを選ぶかの選択肢はクラブにあるということでした。今年度RIテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」です。「皆さんで工夫をし、コロナ終息後のロータリー活動のためにも、新たな機会への扉を開くチャレンジを忘れず、この難局を乗り切りましょう」とお言葉をいただきました。

最後に限られた時間の中、熱意ある講評、ご指導をいただき会員一同心より感謝申し上げます。



## 浦和東RC

会長：野口 實 幹事：奥墨 常治

令和2年9月17日

9月17日(木)に中里ガバナー、高橋ガバナー補佐、村松地区副幹事をお迎えして公式訪問例会を開催させていただきました。懇談会では、当RCの訪問前の印象や訪問するにあたって浦和東の実態を知った時のギャップのお話をいただきました。ベテランのメンバーが中心と思っていたが実際には入会5年未満の会員が多く、若手会員が活躍しているクラブということに驚きとの言葉をいただきました。協議会では、ガバナーが今年度推奨しているクラブビジョンの策定を早々に実現している行動力と、クラブ内のコミュニケーションに対して褒めていただきました。コロナ過の開催となり会場も大きな会場で、ガバナーとメンバーとの距離感が心配でしたが、心あふれるアドバイスをいただき、参加した会員全員で有意義な時間を過ごすことができました。

今年度はまだスタートしたばかりでコロナ過ではございますが、中里ガバナーのもと、作成したクラブビジョンを柱に、出来ないことを考えるのではなくどのようにしたら楽しく活動出来るのかを考え、充実したクラブ活動をして参りたいと思います。協議会終了後も中里ガバナーと役員メンバーと一緒にお茶をさせていただきながら懇親をさらに深めさせていただき、とても素晴らしい一日となりました。長時間にわたりご指導を賜り会員一同心より感謝申し上げます。



## 上尾北RC

会長：竹中 一夫 幹事：小蘭江 文雄

令和2年9月18日

9月18日(金)、中里公造ガバナー、宮澤英修ガバナー補佐、津田ひろみガバナー補佐幹事及び阿部昌隆地区副幹事をお迎えして、公式訪問例会が行われました。例会前に中里ガバナー、宮澤ガバナー補佐と当クラブ役員とで懇談会が行われ、現況のご説明を申し上げさせて頂き、会員増強や奉仕事業の有り方などのご指導を頂きました。奉仕活動の継続事業がマンネリにならない様に、また新規の奉仕活動も積極的に執り行える様にとのご助言を賜りましたが、当クラブで25年間継続の近隣小中学校へお花を寄贈する「花いっぱい運動」には高評価を頂戴致しました。例会では本年度のRIテーマについての詳しいお話を頂戴し、クラブ協議会では各委員長からの年度方針・活動報告の発表に対しまして、中里ガバナーよりご丁寧なご指導を賜り、大変有意義なクラブ協議会になりました。限られた時間のなかではありましたが、中里ガバナーの熱い思いを拝聴することができました。長時間に渡りご指導頂きありがとうございました。



Governor official visit

## 川口RC

会長：増井 千恵子 幹事：杉山 直

令和2年9月19日

9月19日(土)に、中里公造ガバナーの公式訪問が行われました。例会前の懇談会では、年度計画書に基づいてクラブの現状について丁寧にコメント頂き、意見交換をさせて頂きました。また、川口RCの会員のうち入会5年未満の会員が49名と約半数であることから、コロナ禍で親睦が難しい状況では研修実施が重要性であるとのご指摘を頂きました。例会では、中里公造ガバナーがRI及び地区的テーマを分かりやすく説明され、東京ロータリークラブを例に、ロータリーにまつわる奥深い知識を共有させて頂きました。クラブ協議会では、各委員長より積極的な発表がありましたが個々に丁寧なアドバイス・コメントを頂戴し、今後のクラブ運営に関する貴重な示唆をいただきました。一緒にお越しいただきました村石政彦ガバナー補佐、浅島史朗ガバナー補佐幹事にも感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 庄和RC

会長：小川 隆 幹事：萩原 正

令和2年9月23日

9月23日(水)、中里ガバナー・菊池ガバナー補佐・国武地区副幹事・斎藤ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問例会を開催させて頂きました。先ずは、例会に先立って行われたガバナー懇談会において、年度計画書の定款並びに細則について色々なご指摘がありました。これは、今までの当クラブでは通例になっており、今後の為には変えなくてはいけない内容でした。また、どのクラブでも抱えている悩みが会員拡大ではないでしょうか！！私も悩んでいましたが、中里ガバナーには違う切り口からの拡大についてのアドバイスを受け、感謝しています。通常例会については、中里ガバナーに卓話を頂き「ミスター・ロータリー」と感じたのは私だけではないと思います。この日には2名の新会員が誕生し、中里ガバナーよりロータリー・RI・地区的バッチを頂き、良い思い出になったと思います。その後のクラブ協議会では各委員会が状況説明をし、アドバイスを頂きました。あまり緊張せずに臨める公式訪問例会と思っていましたが、1日中背筋に汗を感じ、緊張し、とても有意義な公式訪問例会でした。会員同士がコミュニケーションを図り、ひとりでも多くの会員に入会をして頂ける様、全会員で楽しいクラブを目指して行きたいと思います。中里ガバナー・菊池ガバナー補佐・国武地区副幹事・斎藤ガバナー補佐幹事の益々のご活躍をご祈念申し上げて、公式訪問例会の報告とさせて頂きます。ありがとうございました。



## 八潮イブニングRC

会長：小倉 英行 幹事：白岩 輝幸

令和2年9月23日

9月23日(水)中里公造ガバナー、佐々木一男ガバナー補佐を迎えて、公式訪問例会を開催いたしました。当日は16時30分から懇談会が始まり、クラブの現況、年度計画書の一部不足点、クラブ活性化のビジョン及び戦略計画等について多くのご指導、アドバイスをいただきました。例会においては、パワーポイントを使用し地区活動方針の卓話をより分かりやすくお話しいただきました。クラブ協議会では、各委員長の活動方針、計画に的確にご指導いただき、今後の活動に生かせれるよう一層の努力をいたす所存です。

コロナ過の中での公式訪問ではありましたが有意義な時間となりました事に感謝いたし、長時間にわたりご指導頂きましてありがとうございました。



## 越谷南RC

会長：石川 勝利 幹事：濱野 高成

令和2年9月24日

9月24日(木)に中里公造ガバナー、山崎晶弘ガバナー補佐、中川純一地区副幹事、小池和義ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問例会を開催しました。今年度会長方針の内容を熱くご説明させて頂きました。中里ガバナー・山崎ガバナー補佐より温かいお言葉と助言をもらい、当クラブ会長・理事役員一同、クラブ活性化の為に意欲が高まりました。その他各委員会(委員長)より、年度計画書記載内容以外のご質問等に、中里ガバナー、山崎ガバナー補佐よりご説明頂きました。各委員会(委員長)の意識向上があがり、今年度の公式訪問・協議会を含め、会員一同、今後のクラブ活動を見直し、新しいチャレンジを行きたいと意識が上がってきました。

例会、クラブ協議会と長時間に渡りご指導を賜り、会員一同心より感謝申し上げます。



Governor official visit

## 大宮西RC

会長：染谷 義一 幹事：荒井 理人

令和2年9月28日

9月28日(月)に開催されました中里公造ガバナーをお招きしての公式訪問例会、大勢の会員でお迎えすることができました。ご協力を頂きました関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。また第4グループガバナー補佐の小暮昭弘様、地区副幹事の黒川幸博様にもご出席をいただき重ねて感謝を申し上げます。コロナウイルス感染拡大の影響により例会を一時期自粛しておりましたが、工夫を重ね、Zoomを導入して例会をスタートさせることができました。他クラブ様に於かれましても、知恵を出し合って本年度をスタートされ、各クラブの会長・幹事様は大変なご苦労だったと思います。

公式訪問例会では、歯切れのよい中里ガバナーから大所高所からご指導を頂き且つ、お褒めの言葉も頂きました。改善するところはしっかりと改善して素晴らしいクラブをつくって行きたいと思います。当クラブの公式訪問例会が14クラブ目とのことで、まだまだ公式訪問も始まったばかりですが、中里ガバナーに於かれましては、健康にご留意をいただき今後益々のご活躍されることを願っております。会員一同心より感謝を申し上げ御礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。



## 大宮北東RC

会長：星野 和茂 幹事：長谷川 秀明

令和2年9月29日

2020年9月29日(火)中里公造ガバナー、小暮昭弘ガバナー補佐、今井雅彦地区副幹事をお迎えて、ガバナー公式訪問が執り行われました。例会に先立ち、ガバナー、ガバナー補佐、会長、幹事で懇談をしました。非常に多くの事を勉強させて頂き、定款や細則の事についてもわかりやすく教えて頂きました。例会においてはパワーポイントを活用してロータリーの基本から、昨今の状況までいろいろなお話を聞くことが出来ました。会長としてクラブの方向性や現状の問題に頭を悩ませていたので、中里ガバナーからの「会長の熱意」のお話には大変勇気づけられました。ありがとうございました！

また、当日は中里ガバナーの誕生日でしたので、ささやかながらお祝いをさせて頂きました。中里ガバナーに教わった事を中心に今年度残り8か月、奉仕活動、クラブ運営に尽力していくこうと思います。



## 川口/鳩ヶ谷武南RC

会長：布施 明軌 幹事：山崎 真之介  
令和2年9月30日

9月30日(水)、中里ガバナー、第11G村石ガバナー補佐、浅島ガバナー補佐幹事、鳩田地区副幹事をお迎えしてガバナー公式訪問を開催いたしました。会長、幹事、会長エレクトとの懇談会の後、例会にて「新たな機会へのチャレンジでクラブに活力を」というテーマで卓話を頂き、新規奉仕事業へのチャレンジ、クラブのビジョン戦略計画の策定、日本のロータリー100年についてお話をいただきました。続いて行われたクラブ協議会では、各委員長の発表に細かく的確にご指導いただきました。ありがとうございました。



## さいたま中央RC

会長：井山 一男 幹事：関根 徹

令和2年10月1日



10月1日(木)、中里公造ガバナー、三富俊之地区副幹事、池畠秀夫第2グループガバナー補佐、松本輝夫ガバナーエレクトをラフレシアいたま5Fにお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。例会前の懇親会では井山会長・菅谷会長エレクト・関根幹事より、クラブの現状・運営状況をご説明させていただき、それに対してRIの基本方針やクラブ運営でのクラブの自治を、どのようにクラブ細則に反映させるかなど熱くご指導いただきました。例会では新入会員(故三浦パスト会長のご子息)にロータリーバッジを付けて頂き、卓話ではRI基本方針、地区運営方針、日本のロータリー100年の歴史とそのターニングポイントなど楽しくお話をいただきました。クラブ協議会では、各委員長からの活動方針を受け、重要事項に丁寧に的確なアドバイスを頂き、ガバナー輩出クラブの会員の心構えやクラブ運営の在り方などについても貴重な経験談を伺うことが出来ました。中里ガバナー、長時間にわたり有難うございました。



Governor official visit

# ガバナー公式訪問

## 草加松原RC

会長：木村 博行 幹事：加藤 芳隆

令和2年10月6日

令和2年10月6日(火)中里公造ガバナー・今井雅彦地区副幹事・佐々木一男ガバナー補佐・二階堂祐司補佐幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を草加文化会館において開催いたしました。例会前の懇談会では、会長・幹事とクラブの活動状況、今後の課題等を報告させていただき、その際に中里ガバナーより当クラブが財団奨学生・交換留学生を多数受け入れ、また、海外(主にフィリピン)との国際奉仕プロジェクトを多数手がけている点、素晴らしいとのお褒めの言葉をいただきました。例会では、会長挨拶・幹事報告に続き、入会式を執り行い、中里公造ガバナーより新入会員の加州洋介会員、鈴木努会員へ直接バッジを付けていただきました。クラブ協議会でも、各部門委員長へのアドバイスが示唆に富んでいて、「クラブの目標を全会員と共有すること」、「新規事業にチャレンジすること」など、今後のクラブ運営の参考になるアドバイスを沢山いただき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。長時間に渡るご指導、心より感謝申し上げます。



## ローターアクト活動報告

「2020年9月12日 アクトの日  
講演会～コロナウイルス感染症について～」

はじめに、活動の立案をする際に大切にしていることがあります。会員にとって、見識を広げられる機会を如何に提供できるかです。その想いのもと、例年であれば奉仕活動を軸に企画される「アクトの日」ですが、今般の情勢を鑑みオンライン配信を取り入れた講演会を、済生会川口総合病院の佐藤雅彦院長様(川口RC所属)を講師にお迎えし、コロナウイルス感染症についての解説や予防策、今後の見通しなどご講演(卓話)頂きました。

ロータリアンの皆様をはじめ、中国・山陰地方や東北・首都圏の友好地区アクターからのご参加もあり、幅広い年齢層の方に関心頂けたことを嬉しく思います。また、地区行事としてオンライン配信を取り入れたハイブリッド形式の活動は初の試みとなりました。成功事例として、今後の活動へ反映させたいと思います。

最後になりますが、実施にあたりご協力くださいました川口RCの皆様、この場をお借りして御礼申し上げます。なお、皆様からお預かりした寄附金は、済生会川口総合病院へお贈りさせていただきました。

第2770地区社会奉仕委員会 委員長 浅沼良成



済生会川口総合病院 佐藤雅彦 院長



# TOPICS 1

## 2020学年度9月修了生修了式

2020年9月20日、ガバナー事務所にて、2020学年度9月修了式が行われた。この日は、本年9月にそれぞれの課程を修了した、タパ・マラガ・シラザネさん（埼玉大学修士課程修了、ネパール出身、世話クラブ：さいたま櫻RC）とガブロ・ジェレミー・ノエル・ベルガーさん（埼玉大学修士課程修了、フランス出身、世話クラブ：さいたま新都心RC）の二人が米山奨学期間を無事終了し、中里ガバナーから直接、修了証（証明書）が授与された。当日は、コロナウィルス感染症予防の観点から、出席者は、修了生・カウンセラー・ガバナー・宗像直前部門委員長・部門委員長・小委員長と最小限の人数で行



われた。ガバナーから、学生には、これまでを振り返って懐かしむと共に、今後への熱いエールが送られ、カウンセラーには、深い感謝の意が表された。タパさんは、博士課程への進学が決まり、さらなる研究の道に進む。ジェレミーさんは、まずは家族が心配なのでフランスに戻り、日本への再来を希望している。

コロナ禍の中で、奨学期間後半は、世話クラブおよび奨学生同士の交流が少なくなってしまい大変残念のことであつた。またいつか元気に会える日を楽しみにしている。

米山記念奨学部門 委員長 工藤篤志

# TOPICS 2

## 越谷南 RC 埼玉県立越谷特別支援学校様へ特別支援



去る9月25日に埼玉県立越谷特別支援学校様へ、視線入力装置一式を寄贈させて頂きました。



肢体不自由の児童・生徒を対象とした、埼玉県立越谷特別支援学校からの最新テクノロジー導入の意向と、越谷南ロータリークラブによる地域社会への奉仕活動、更には職業奉仕の理念に基づく新時代の人材活用への期待が一致したことにより、実現に至りました。



目の動きだけでコンピュータを操作できる視線入力装置は、障がいのある児童・生徒にとってコミュニケーションの幅を広げ、学習の質を大きく向上するものと確信しています。その過程で得た能力は、卒業後の就労においても発揮し、個性を活かした働き方に繋がると期待しています。埼玉新聞や東武読売新聞に掲載もされました。そちらもぜひ拝見して頂きたいと思います。

# TOPICS 3

## 2019-20 年度派遣生帰国報告会



日頃より社会奉仕部門の活動にご理解ご協力を頂きありがとうございます。

9月27日(日)15:00より大宮のレンタルスペースにおいて、2019-20年度派遣生の帰国報告会をZOOMにて開催しました。MAX77名の部屋を借り、派遣生15名とROTEX、委員会、来賓合わせ半数の30名で配信しました。それぞれに用意したプレゼンを、緊張し震えながらする



学生。プレゼンしながら笑いが止まらなくなる学生とそれぞれの表現で、ロータリアン、ホストファミリー、その他関係する皆様に感謝の言葉を伝えてくれました。自分の進むべき道が決まったと、ホームステイ先の父が医者で、心臓の手術に立ち会うことが出来、自分は「医者になるんだ」と話した学生。何事にも積極的になれなかつたが、自分は変わつた。なんでも挑戦できる自分になったと自信

満々に話す学生。この年度の学生は、コロナ渦において予定よりも早く帰国した学生たち。しかし、それぞれの学生からは、そんなハプニングについてマイナスなことは一切口にしません。出てくる言葉は、「またもう一度行く」「世界で活躍する人になる」そんな言葉でした。ロータリアンの子弟が唯一参加できるこの事業。改めてこの素晴らしい感動を感じるとともに、自分たちは、クラブの皆さんに伝え続けることをしなくてはいけない事業だと確信しました。またこの帰国報告会を開催するにあたり樽林ROTEX会長をはじめとするメンバーの皆様には大変お世話になりました。

青少年交換委員会 委員長 栗原偉憲

# 国際ロータリー第2770地区 2020-21年度 地区大会

## 大会テーマ ロータリーでの出逢いに感謝

2020年11月14日(土)・15日(日)

- 15日(日) ◇本会議 (川口総合文化センター・リリア メインホール)  
 11時30分 登録開始 12時00分着席  
 ◇大抽選会 (川口総合文化センター・リリア メインホール)  
 18時15分開会 18時50分閉会

\*会場は、適切な距離を確保し、通常時に比べ、3密を避け、ソーシャルディスタンスを考慮したうえで、例年参加する人数の座席は確保して、お待ち申し上げております。座席は、グループ単位の指定席とする予定です。

\*コロナウイルス感染拡大に配慮して、ユーチューブでもご覧いただけます(同時配信を行います)。

ユーチューブURLは後日ご連絡致します。

\*大抽選会は、会場参加者、オンライン参加者それぞれに「あたり」をご用意しております。

\*ご来場の際は、公共交通機関をご利用いただきますようお願い申し上げます。

## 地区大会に参加される会員の皆さまへのお願い

### ～地区大会に際して新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、政府や埼玉県の方針を踏まえ、様々な感染予防対策に取り組み運営いたします。ご来場の皆さまにおかれましても、入場時の検温など大変ご不便をおかけしますが、感染予防対策強化にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

#### 【ご来場について】

(1) 以下の事項に該当する方は入場をお断りさせていただきます。

- (i) 過去1週間以内から現在までに体温37.5度以上(入口通過時にサーモグラフィで体温検査実施)、強い倦怠感、感冒様症状(咳、咽頭痛、息苦しさ等)、味覚・嗅覚異常などの異変がある場合を含む体調不良のある方
- (ii) PCR検査陽性歴があり、

- (1) 有症状者では発症日から10日未満、かつ、症状軽快後72時間以内
- (2) 症状軽快後24時間経過から24時間以上の間隔をあけ、2回のPCR検査で陰性を確認できていない
- (3) 無症状病原体保有者では、陰性確認から10日未満
- (4) 検体採取日から6日間経過後、24時間以上の間隔をあけ2回のPCR検査陰性を確認できていない

- (iii) 濃厚接触者として自宅待機中

- (iv) 家族が濃厚接触者として自宅待機中

- (v) 家族に(i)におけるいずれかの体調不良がある

- (vi) 海外から帰国(日本に入国)して14日未満

- (vii) マスク非着用の方

(2) 以下にご協力いただけない場合は入場をお断りさせていただきます。

- (i) ご入場時のサーモグラフィによる検温・消毒液による手指消毒
- (ii) マスク持参・常時着用

(3) ご入場時の検温に時間がかかる場合があります。ご入場時の混乱を避けるため、ご来場の際は時間に余裕をもってお越しください。

#### 【座席について】

(1) 座席は、グループ単位での指定席とさせていただきます。また、座席で大声をだすこと及びエールを送ること等を禁止させていただきます。

(2) 座席では、原則としてマスクの着用をお願いします。一時期的にマスクを外される場合は、周囲の人との距離を十分確保いただきますようお願いします。

(3) 座席番号の記録をお願いします(席をスマートフォン等のカメラに記録、座席の撮影、座席番号のメモ保存等)

(4) 一度お座りになられた座席からの移動はご遠慮ください。

(5) 感染者との接触を通知する「接触確認アプリ」の導入をお願いします。

(6) 会場内では可能な限り、トイレなど目的地を決めて移動いただき不必要的回遊はご遠慮ください。

(7) 感染が判明した場合及び濃厚接触者と指定された場合、地区事務所への連絡協力をお願いします。

(8) 感染が判明した場合、対象席番の情報をHP等で公表し連絡いたします。(自治体及び保健所との協議の上感染拡大が懸念される場合に保健所との協議で陽性感染者の座席情報と近隣座席者への連絡実施等)

## 15日 本会議内 会員スピーチ 北本RC 佐京 雄都 氏 インタビュー

佐京雄都会員（北本RC）は現在22歳、入会4年目です。オンラインで開催された2020-21会員増強部門セミナーの講演内容が素晴らしく、中里ガバナーたっての希望で地区大会での登壇が決まりました。今日は22歳ロータリアンの視点で、忌憚ないコメントをお願い致します。

**(月信)** いつ頃からロータリークラブを知っていたか教えてください。

**(佐京)** 父、祖父もロータリアンでしたので、物心ついたことから知っていました。

**(月信)** なるほど。しかしながら系譜と入会は、また別な話かとも思いますが、入会したきっかけを教えてください。

**(佐京)** 北本市の自然環境や街に魅力を感じていました。何かを始めたいと思っていた時期に前会長の加藤会員よりお誘いを受けて入会しました。

**(月信)** 入る前と入った後ではロータリーは違った？

**(佐京)** はい。鐘を打って、楽しそうに唱和して…最初はまずいところに来てしまったのかと。

**(月信)** そんな佐京さんが、ロータリーに感じている面白味はどんなこと？

**(佐京)** 人と知り合うことに尽くると思います。年齢の幅や職業の幅などが広く、常の仕事をやっていても知りあえない方々にお会いできることは大きな魅力だと思います。また、お一人お一人の人生経験に裏打ちされた様々なご意見を伺えるもの嬉しく思います。自分の理解の範囲を超えたお話しも多く、ついていくのが精いっぱいですが、先ずは理解して受け入れるという姿勢で臨んでいます。

**(月信)** ロータリーを友人に紹介する際に特に伝えたい部分はどこ？そしてそれを正しく伝えるために注意している点があれば教えてください。

**(佐京)** まずは怪しい団体ではないことを前提に。価値判断は聞く側に委ねて、奉仕活動など「良いことをしている」と強調しそぎないようにしたいと思っています。

**(月信)** 2019年のドイツ国際大会に参加されたそうですが、初めての国際大会に参加して何を感じましたか？

**(佐京)** ロータリーが国際組織であることを肌で感じました。見回すと隣りに座ったロータリアンはウガンダ出身、その隣がドイツ出身、その隣のアメリカ出身のロータリアンでした。良い機会と思って身振り手振りでコミュニケーションが取れたのは嬉しかったです。これが『徽章の重み』だと思いました。

**(月信)** 各クラブが目指す増強に何かご意見はありますか？

**(佐京)** 会員増強と併せて会員維持に注力することで会員数は増加していくと思いますが、入会後に、退会という選択肢があることも入会のハードルを下げる事になると思います。そのため、既存の会員は辞めたくない環境を作っていくことが重要だと思います。

**(月信)** 同年代（20代）の人にロータリアンになることを勧めたいですか？

**(佐京)** はい。興味がある人には是非入っていただきたいと思います。20代も70代でもそれぞれの意見を討論し合って双方向に響き合うことがロータリーの良さだと思います。

**(月信)** ご自身の仕事にロータリー活動はプラスになっていますか？

**(佐京)** 仕事に対する考え方には大きな影響を受けています。

**(月信)** 前回の増強部門セミナーでの講演内容で一番伝えたかったことは何ですか？

**(佐京)** 肌で感じるギャップを受け入れ楽しむ姿勢が会員増強につながるということでした。ロータリーの活動を通じて感じる世代間のギャップ、国際間のギャップなどを素直に受け入れ、可能な限り自分の中に取り込み、日々自分らしく踏み出すこと、その一人ひとりの活動の総体が会員増強につながるのではないかと思います。今回のオンライン例会の拡大も世界つながる機会だと思えば、ワクワク出来ると思います。

**(月信)** 地区大会での会員スピーチ期待しています！

## 15日 本会議内 記念講演 ジャパンハート 吉岡 秀人 氏

特定非営利活動法人ジャパンハート 最高顧問／創設者／小児外科医

1965年生まれ、大阪府吹田市出身。吉岡秀人は、子どもの頃に、テレビで戦争や飢餓で苦しむアジアやアフリカの子どもの映像を観て、そこで死んでいく多くの人と、日本で安全に生活している自分との間に不公平や理不尽を感じました。その後、高校生で医師を目指し、1995年（当時30歳）、単身ミャンマーへ渡り医療支援活動を開始します。ミャンマーとのご縁ができたのは、第二次世界大戦で家族や戦友をミャンマーで亡くした慰霊団の方達からの依頼を受けてのものでした。慰霊団の方達は、慰霊のために毎年訪れるミャンマーで、貧困のために病院にかかりずつ亡くなっていく人を数多く目にしていました。そして、高齢のため毎年の渡航が難しくなりつつあった慰霊団の方々は、「家族や戦友が還っていったミャンマーの土地から生まれてくる子ども達を救うことをこれから慰霊行為としたい」と、現地で医療活動をしてくれる医師を探していました。そして白羽の矢が立ったのが吉岡秀人でした。

吉岡は仲間を集め、2004年に国際医療ボランティア団体「ジャパンハート」を設立。ジャパンハートの医療活動は、ミャンマーからはじまりカンボジア、ラオスとその範囲を広げています。現在は、現地医療者の育成、養育施設の運営、大規模災害時における国際緊急救援などを実施。日本国内では、離島・僻地への医療人材支援、小児がんの子どもと家族の旅行に医療者が付き添うプロジェクトなどを行っています。

主な著書に『命を燃やせ』（講談社）  
 『飛べない鳥たちへ』（風媒社）  
 『救う力』（廣済堂出版）  
 『ONE SKY』（JUNJI NAITO PHOTOGRAPHS）  
 など。

■ジャパンハートホームページ <https://www.japanheart.org/>



Japan Heart

### 2020年-21年度 国際ロータリー第2770地区 地区大会記念ポリオ根絶&COVID-19 支援チャリティゴルフコンペ結果

10月5日(月)にプレステージカントリークラブにて、地区大会の行事の一環として恒例の記念ゴルフコンペを開催いたしました。今年度は例年のポリオ根絶とともに新型コロナウィルス感染症(COVID-19)の支援を合わせたチャリティゴルフ大会とし、懇親パーティ(成績発表を含む)は中止にしました。

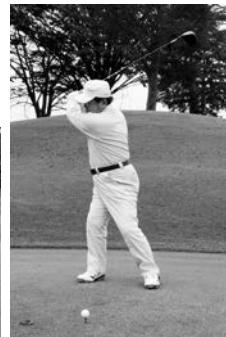
#### 成績

		グロス	HDCP	ネット
優勝	伊藤 明里(大宮北)	80	10.8	69.2
2位	高橋 裕(八潮)	84	13.2	70.8
3位	山崎 淳(桶川イブニング)	84	13.2	70.8
男子優勝		伊藤 明里(大宮北)		
女子優勝		清水 浩子(三郷中央)		
シニア優勝		鈴木 武(三郷ウェンズデー)		



ホストクラブの川口南RCのみなさん。1日お疲れ様でした。

ベストグロス男子	伊藤 明里(大宮北)	80
	廣橋 宴(川口むさし野)	80
★	水野谷 章(浦和北)	80
	※3名同スコアのため、年長者の水野谷章会員が受賞	
ベストグロス女子	長谷川 未千代(大宮北東)	75
ベストグロスシニア	進藤 和夫(久喜)	79



鳩ヶ谷RC・川口東RC

松本輝夫ガバナーエレクト

#### 優勝者コメント

男子 伊藤明里会員(大宮北RC)  
 モニターで他のプレーヤーのスコアが見れるため、真剣に鼻息荒くプレーできました(笑)。楽しみながらプレーできました。一緒にプレーした仲間に感謝です。

女子 清水浩子会員(三郷中央RC)  
 毎回参加していますが優勝は初めてです。朝からエンジョイして、波がなくプレーできたのが良かったのかもしれません。優勝商品も豪華でびっくりです。中里ガナバーありがとうございました！

# Rotary opens opportunities

## ロータリー財団



## ロータリー財団



## 米山奨学会



## 米山奨学会



## 米山奨学会



### 米山奨学会



<b>千葉 和枝</b> (春日部西) 令和2年9月14日	<b>中村 守</b> (越谷) 令和2年9月29日	<b>大塚 敏男</b> (三郷) 令和2年8月12日	<b>今野 正文</b> (三郷) 令和2年8月12日	<b>関根 順一</b> (庄和) 令和2年9月25日	<b>阮 潔</b> (さいたま大空) 令和2年9月27日	<b>深井 栄一</b> (春日部西) 令和2年9月14日
-------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

### 米山奨学会



<b>谷口 真司</b> (春日部西) 令和2年9月23日	<b>山田 肇</b> (春日部西) 令和2年9月14日	<b>小川 隆</b> (庄和) 令和2年9月25日	<b>宮下 智義</b> (春日部西) 令和2年9月14日	<b>(有)大東設計</b> (春日部西) 令和2年10月5日
-------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------

### 新会員



<b>福田 聰</b> (久喜) 令和2年8月20日入会 川魚料理 米屋 飲食業	<b>山崎 亮一</b> (上尾) 令和2年9月3日入会 山崎亮一行政書士事務所 行政書士	<b>佐藤 徳典</b> (浦和東) 令和2年9月3日入会 はるか法律事務所 弁護士	<b>奥隅 江里子</b> (大宮南) 令和2年9月8日入会 株式会社奥隅商店 食品卸売業	<b>稻葉 伸明</b> (庄和) 令和2年9月9日入会 松栄堂印刷 印刷業	<b>貝塚 順一</b> (庄和) 令和2年9月9日入会 ホルティ貝塚 農園業	<b>佐藤 篤史</b> (杉戸) 令和2年9月10日入会 三井住友信託銀行株式会社 金融
--	---	--	---	--	---	---

### 新会員



<b>原田 圭司</b> (草加シティ) 令和2年9月10日入会 フレストホール株式会社 建設業	<b>大野 太郎</b> (川口西) 令和2年9月10日入会 大野法律事務所 弁護士	<b>出山 隆信</b> (大宮西) 令和2年9月14日入会 株式会社タクシメンテナンス中央 ビルメンテナンス業	<b>三浦 敬弘</b> (さいたま中央) 令和2年10月1日入会 株式会社アートテック 建設業	<b>西島 一隼</b> (春日部) 令和2年10月6日入会 西島法律事務所 弁護士	<b>松崎 覚</b> (春日部) 令和2年10月6日入会 株式会社あいはな 通所介護	<b>牛窪 美恵子</b> (蕨) 令和2年10月6日入会 株式会社アイコインターナショナル 貿易業
--	--	--	--	--	---	--



10月は米山月間

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

Vol.247

2020年10月12日  
発行

## 1. 米山月間はなぜ10月？

国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間に加え、日本独自の月間テーマとして、10月は米山月間となっています。なぜ、10月なのでしょうか？

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですでに行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4

月となり、重なってしまったこと。また、4月では各クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、ストが多い、などの現実的な支障があったためです。そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。

1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。

## 2. 米山月間の工夫

10月の米山月間には、ガバナーの方針のもと、各地区米山奨学委員会や各クラブにおいてさまざまな方法で推進がされています。事業理解の促進に最も効果的なプログラムは、なんと言っても米山奨学生の卓話です。しかし、今年は新型コロナウイルスのため、例会そのものが休会だったり、感染拡大防止の観点から奨学生のクラブへの卓話派遣を見合わせている地区もあります。

第2680地区（兵庫）では今年度、各クラブでの奨学生卓話を中止するかわりに、奨学生一人ひとりの自己紹介、日本で学びたいと思った理由、研究内容や将来の目標などのメッセージ動画を1枚のDVDにまとめ、米山月間に合わせ



◀ 第2680地区米山記念奨学委員会が制作したDVD

て地区内全クラブへ配布することを決定しました。

そのほか、当会が発行する恒例の『豆辞典』も毎年少しづつ内容を変えており、説明用パワーポイントを当会HPで公開しています。さらに今年度の月間資料では、新しく発行した『米山学友の群像 学友会特集号』も各クラブへ送付していますので、ぜひ併せてご活用ください。

## 3. 寄付金速報 — 米山月間にご協力を！ —

9月までの寄付金は前年同期と比べて5.7%減（普通寄付金：5.2%減、特別寄付金：6.2%減）、約2,200万円の減少となりました。

7～9月の累計額を過去10年間の実績と比較すると、東日本大震災後にあたる2011～13年度の3年間を除き、今年度の寄付額は下回っています。新型コロナウイルスによる景気低迷が

どのくらいの期間影響するか見えない部分が大きいですが、10月の米山月間にはぜひ、当米山記念奨学事業へのご理解とご支援をお願いいたします。戦後、日本のロータリアンが「国際親善と世界平和に寄与したい」との思いでつくり育てた奨学事業は、今、皆さんの中にはあります。

## 4. ミャンマーの子どもたちに手洗い習慣を

ミャンマーでは9月以降、国内の新型コロナウイルス感染者が急増しています。同国政府はヤンゴン管区全域のセミロックダウン、流行地域からの移動制限など、感染拡大に歯止めをかけるべく対策を強化しています。

今年度、新型コロナウイルスへの対策プロジェクトを立ち上げているミャンマー米山学友会では、子どもたちに手洗い習慣を身に付けてほしいと、今年7月から8月にかけて僧院学校6



校（ヤンゴンおよびマンダレー地区で各3校）に手洗い場計45台を設置。僧院学



校とは、地元民のお布施によって運営され、孤児や貧困層の子どもたちが多く学ぶ学校です。僧侶や校長からは、「コロナの影響で学校を支えてくれる支援者が減っているなか、今必要不可欠な手洗い場を寄贈していただいた」と、感謝の言葉をいただいたそうです。このほか、会員が持ち寄ったお金で、ヤンゴンとマンダレーの各医療施設へ計380万チャット（約31万円）を寄付しました。ケイカイン ウィントウラ会長は「学友会の会員や有志の寄付者からのお金を、本当に必要な場所へ届けるのが会長のつとめだと思っています」と、笑顔で語ります。



## 5. 地区米山委員長対象 Web 相談会を開催

当会では年に2回、次年度の地区米山記念奨学委員長を対象とするセミナーを開催し、事務手続きや年間スケジュールを確認しながら、ケーススタディと推進のアイデアを共有する場を設けています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月25・28・29日の3日間にわたってZoomを使ったオンラインでの相談会を開催。コロナのために日本へ入国できないいる奨学生への対応や、地区への特別補助費、8月から当会で施行された「個人情報の保護及び管理に関する

規程」、よねやま親善大使やホームカミング制度などについて事務局から説明したあと、質疑応答や参加している他地区との情報交換が行われました。

いずれの地区も、奨学生を含む懇親会・研修会の開催やその対策、年末年始からスタートする次年度奨学生の面接選考の方法などについて、頭を悩ませている様子が伺えました。当会事務局では今後3日間の質疑応答のまとめを作成して配布し、役立てていただく予定です。

## 三地域合同オンラインセミナー報告

本年度から第一地域ARPCを仰せ付かりました、2790地区・柏RCの寺嶋と申します。皆様には宜しくご指導の程、お願ひ申し上げます。

過る8月29日、三地域合同の2020-21年度「公共イメージ向上オンラインセミナー」が開催されました。Zoomを利用しての合同セミナーは、初の試みとの事でございます。当日は辰野克彦RI理事を始めとし、三地域のRPC・ARPC・ARC、及び、国内各地域のDG・GE・GN・公共イメージ向上を担当する各地区委員長など、総勢86名の参加を頂きました。

冒頭の辰野RI理事のご挨拶では、アフリカにおいてポリオが根絶された慶事が報告された一方で、そのマスコミ報道においてロータリーの果たした功績が触れられなかつた事を指摘され、未だロータリーの公共イメージの向上が手法として不完全である事に対する反省の弁を述べられました。

次いでセッション1では、R3山下皓三RPCが「公共イメージの推進」と題し、公共イメージキャンペーンの実施・クラブの広報戦略・地域社会でのクラブのイメージの向上について問題提起をされました。

続くセッション2では、R1井原實RPCが「ロータリーのブランド」と題し、ロータリーブランドの認知と一貫性の重要性、および、ロータリーブランドとクラブ活性化の相関について解説されました。更にセッション3では、R2服部陽子RPCが「ロータリーの公共イメージを築く」と題し、公共のロータリーへの理解を深める方法や、好ましいイメージを築く為の心得などについてレクチャーされました。

これらを受けた質疑と事例発表においては、2720地区・早水琢也会員から災害時に出動するキッチンカーと支援物資の備蓄状況についてや、2530地区・相良元章会員から広く購読されるメディアにロータリー情報を探求するQRコードを掲載する事業の実施状況など、各地区やクラブにおいても大いに参考となる具体的な実例が報告され、参加者には極めて有益なセミナーとなつたものと思われます。

第1地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 寺嶋 哲生(柏RC)

VOI. 1

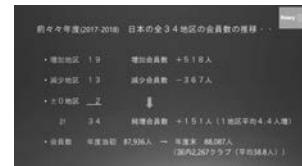
## フーティネスターNEWS 2020年10月号 Region1&2&3

### 緊急事態発生！ このままではロータリーがなくなっちゃう！！

ここ何年かに亘り、日本の34地区の会員数の増減を見てきました。その最たる特徴は、この2年間の退潮ぶりが極めて顕著になってきたことです。

I まず、直近3年前(2017-2018)の状況を見てみましょう

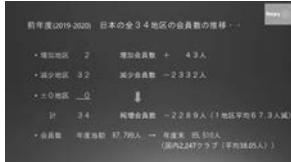
2017-2018の状況は、34地区のうち会員数が増加した地区が19地区で+518人、減少した地区が13地区で-367人、増減0であった地区が2地区でした。合計で1年間で僅かに151人(1地区平均4.4人)しか増加しませんでした。ご承知の通り、日本が目指している会員数はとりあえず105,000人(1ゾーンに必要な会員数は35,000人ですので、これまでの3ゾーンを維持するとすれば、その3倍が必要とされています。)ですが、この年度末の会員数は88,087人、あと16,913人足りませんでした。このような中、毎年度僅かに150人程度の増加で満足しているとすれば、不足分の17,000人を達成するには100年以上掛かってしまう計算になります。100年は待てません。



II さて、「それでもこの年度は微ながらでも増えたんだから良しとしよう」というポジティブな気持ちを持って次年度に期待していたのですが、次年度(2018-2019)の結果は、以下の通りとなってしまいました。

表からは、2018-2019年度はトータルで257人の減少を示しています。1地区あたり平均で7.5人の減少です。一方でクラブ数も減りましたので、1クラブあたりの会員数は38.9人と前年並みを維持しましたが、「これは大変なことになった」と感じたロータリアンも多かったことと思います。

何が原因なのか？当時、日本の景気はそれなりに良かったはず。来年には東京オリンピック開催も控えていたし、インバウンド数も過去最高であったはずでした。でも、ロータリーは退潮してきている…改めて大いなる不安を感じたのでした。



たった1年間で、日本中からロータリアンが2,289人も消えてしまいました。1地区平均では67.3人が喪失してしまったのです。増加した地区は僅かに2つだけ…。それも合わせて43人にすぎません。原因は新型コロナ禍でしょうか？きっとそうですよね。でも、ロータリーのスピリットが各自に確立していれば、こんな結果にはならなかつかも知れません。改めて、会員増強のあと的新会員向けの啓蒙・啓発が必要であることを悟りました。各クラブは、年に数回、新会員向けの勉強会を開いてください。そこで先輩達は、ロータリーとは何なのか、自分の人生にどれだけ有益なものなのか、クラブに所属しているということにどのような意義があるのかなど、いろいろと基本的なことを説明してください。私達はもう一度、ロータリーの素晴らしさを再認識しましょう。静かに落ち着いて考えてみてください。

ロータリーの存在は、私達にどれほど大切な時間や思い出や仲間を与えてくれたのかを…

最後に、新会員に対しある格言から作文しての一言を贈ります…。

ロータリアンには2種類がある。すなわち、「すでにロータリーが好きになってしまった人」と「これから好きになる人」だ。

VOI. 2

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 田中 久夫(高崎RC)

# ライダーズクラブ 2770

2770地区ライダーズクラブの  
お三方にお話を伺いました  
**浅水尚伸会員(越谷南RC)**  
**バストガバナー**  
**清水良順会員(春日部南RC)**  
**臼井俊英会員(春日部南RC)**



**月信:**本日は、よろしくお願ひ致します。お三方からはロータリアンらしからぬ雰囲気を感じます(汗)。まずは、発足のきっかけを教えてください。

**臼井:**浅水ガバナー年度(2016-17)を盛り上げようと、当初は約20名で発足しました。ツーリングやバーベキューなどをバイクと自然を楽しんでいます。

**清水:**発足記念に開催したライダーズミーティングは大変盛り上がりました(写真、myマイクで矢沢永吉を熱唱されているのは清水会員)。「ポリオ撲滅＆春日部とタイの子供たちの為に」と銘打って、当日は子供が参加できるゲームを開催したり、春日部市長をお呼びして寄贈セレモニーを行うなど、地域社会との交流も図ることができました。



**浅水:**国際大会に参加するとヨコのつながりを楽しむブースが数多く出展しています。ブラジルやアルゼンチンなどはオートバイを楽しむ同好会が有名です。日本でも、個々でオートバイを楽しめているロータリアンはたくさんいらっしゃるので、ヨコのつながりができれば更に楽しくなるのではないかと思っています。



**月信:**奉仕と親睦を両立されていますね。今後の方向性を教えてください。

**臼井:**2770地区内には、多くのオートバイが好きな会員がいらっしゃるので、12あるグループ単位でライダーズクラブを発足し日頃の活動を楽しみ、時々地区全体でのライダーズクラブが集まるイベントが出来れば最高です。

**月信:**会員増強の一助にもなりそうですね。

**浅水:**ロータリーは一面的ではなく、様々な面があると考えています。一面だけを見て窮屈な思いをして、詰まらない、辞めようでは、勿体ないと思います。多面性を感じる機会を提供出来ればと思います。

**臼井:**そうですね。手っ取り早く、例会や奉仕活動以外の側面を感じてもらう意味では、ライダーズクラブもその手段だと思います。

**清水:**ゆえに馬鹿をやるものそのひとつです。ロータリーの魅力に巡り合う機会を増やしたいと思います。嬉しい面に触れ、そこから少し積極的に例会に参加してみる。更に、奉仕活動にも参加して肌で感じてみる。ロータリー活動が日々の生活にゆとりを与え、活動の積み重ねによって生活が充実すれば、それに勝るものはないと思います。

**浅水:**これまで、多くの人と出逢いによって、自分に足らないものを感じ、行動することで人生にプラスにしてきました。ロータリアンになかには、こんな人になりたいと思わせてくれる方がたくさんいらっしゃいます。そのような機会を提供出来ればと考えています。

**月信:**とても熱いお話ありがとうございました！



インタビュー:月信担当 地区副幹事 大竹・福薦



# 2020年-21年度 9月会員数報告

クラブ名	2020年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
浦和	102	2	108	1	6	3	12
浦和東	93	12	93	12	0	5	2
浦和南	23	2	23	2	0	5	0
浦和中	40	2	39	2	-1	3	0
浦和ダイヤモンド	22	3	22	3	0	2	0
第1グループ計	280	21	285	20	5	18	14
浦和北	59	3	59	3	0	0	4
さいたま中央	44	3	44	3	0	5	1
さいたまシティ	19	1	19	1	0	2	0
浦和北東	35	4	37	4	2	3	2
さいたま新都心	37	0	39	0	2	5	3
第2グループ計	194	11	198	11	4	15	10
大宮	74	1	74	1	0	4	1
大宮南	39	7	40	8	1	2	1
大宮中央	39	0	39	0	0	3	0
大宮シティ	63	7	63	7	0	8	0
さいたま櫻	29	2	31	2	2	3	2
さいたま大空	16	6	16	6	0	2	0
第3グループ計	260	23	263	24	3	22	4
大宮西	111	8	115	8	4	10	5
岩槻	27	2	28	2	1	2	1
大宮北	13	1	13	1	0	1	0
大宮東	40	2	40	2	0	3	0
岩槻東	29	4	28	4	-1	2	0
大宮北東	10	1	10	1	0	2	0
第4グループ計	230	18	234	18	4	20	6
上尾	36	0	37	0	1	2	1
鴻巣	28	4	28	4	0	3	0
桶川	26	1	25	1	-1	3	0
上尾西	42	1	43	1	1	4	1
北本	5	0	6	0	1	4	1
上尾北	24	0	24	0	0	0	0
鴻巣水曜	32	2	33	2	1	2	1
桶川イブニング	25	3	25	3	0	2	0
第5グループ計	218	11	221	11	3	20	4
春日部	22	0	23	0	1	5	1
杉戸	43	1	44	1	1	7	1
春日部西	32	1	32	1	0	5	0
庄和	22	1	24	1	2	3	2
春日部南	26	1	26	1	0	5	0
春日部イブニング	27	2	27	2	0	2	0
第6グループ計	172	6	176	6	4	27	4

クラブ名	2020年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
幸手	47	2	47	2	0	3	0
蓮田	50	4	50	4	0	4	0
久喜	47	4	49	4	2	5	2
幸手中央	23	2	23	2	0	3	0
第7グループ計	167	12	169	12	2	15	2
越谷	93	3	93	3	0	10	0
越谷南	43	3	43	3	0	5	0
越谷北	44	3	44	3	0	5	0
越谷東	52	3	54	3	2	5	2
越谷中	17	4	17	4	0	2	0
第8グループ計	249	16	251	16	2	27	2
八潮	36	3	36	3	0	5	0
八潮イブニング	16	0	12	0	-4	5	0
草加中央	7	0	7	0	0	1	1
八潮みらい	23	2	22	2	-1	3	0
草加松原	38	2	39	2	1	3	1
草加シティ	17	10	17	10	0	30	0
第9グループ計	137	17	133	17	-4	47	2
吉川	14	0	14	0	0	5	0
三郷	25	2	26	2	1	5	1
三郷中央	18	1	18	1	0	3	0
三郷ウェンズデー	11	1	11	1	0	2	0
松伏	18	2	17	1	-1	2	0
吉川中央	15	3	15	3	0	2	0
第10グループ計	101	9	101	8	0	19	1
川口	100	19	99	18	-1	7	2
鳩ヶ谷	16	2	16	2	0	3	0
川口東	26	1	25	0	-1	3	0
川口/鳩ヶ谷武南	21	2	21	2	0	0	0
川口モーニング	28	3	28	3	0	1	0
川口南	23	6	23	6	0	3	0
川口シティ鳩ヶ谷	12	1	12	1	0	3	0
埼玉ゆず	5	5	5	5	0	3	0
第11グループ計	231	39	229	37	-2	23	2
戸田	53	5	52	5	-1	2	0
蕨	20	3	20	3	0	2	1
川口西	23	4	23	4	0	3	1
戸田西	19	1	19	1	0	2	0
川口北	19	0	19	0	0	2	0
川口北東	4	0	4	0	0	2	0
川口中央	11	2	11	2	0	2	0
川口むさし野	16	3	14	3	-2	2	0
戸田イブニング	11	0	11	0	0	0	0
第12グループ計	176	18	173	18	-3	17	2
地区合計	2415	201	2433	198	18	270	53

## 地区幹事の「ほっと一息」

「ミトミ君、私はこのかた30年、教授をしている・・・

どういう言葉を生徒たちから一番多く聞かされたと思う？」

**教授がうめいた。**

「わかりません」

「それだつ！」